

事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表

(別添参考様式2)

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			指導訓練室等、利用定員が活動するスペースは十分取れています。
	2	職員の配置数は適切であるか	5			人員基に達する配置となっております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		5		入口の靴を脱ぐ場所に少し段差はありますが、中は段差がなく過ごしやすい空間となっている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			毎週プログラムミーティングを行い、モニタリング前の個別支援計画会議も都度全員参加で行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			2度目の評価アンケートとなり、今回もたくさんのお言葉を頂きました。今後もより一層利用者様 保護者様に対して満足頂けるよう支援を行っていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			昨年度2月に公開、今年も3月前半にHPに公開となります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			5	評価機関を検討しているため、後日報告致します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			毎月管理者による専門知識・人間力の研修を行い、外部研修でも市が主催のものなど積極的に参加しています。
適切 な 支	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			アセスメントは1時間以上保護者様からおさまの成育歴 現在の困りごと 得意なことなど詳しくお話を聞き、保護者様と一緒に課題を考え、放課後等デイサービス計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			アセスメントシートを使用し、事前にS-M社会生活能力検査を保護者様に実施。生活年齢も把握しております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			プログラムミーティングや、日々の中で今後どんなプログラムを行いたいのか話し合い登所予定を決定しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			プログラミングは週1、調理や、道徳性、はたらくこと等については月に1度入れています。それ以外のプログラムは全て代えおこさま達がより成長できる取り組みを考え実行しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			平日は一つのプログラムを行います。祝日や、長期休暇については時間が長いので、午前と午後に分けて別々のプログラムを行ったり、長い時間があることを活かし外出プログラムを取り入れて様々な体験ができるようにしています。

援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を通 宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成 しているか	5		施設内で個別支援計画会議を行い、おさまの現状報告を受けながら最終的に 保護者様の意向をきき作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日 行われる支援の内容や役割分担について確認して いるか	5		朝礼で必ず前日の申し送りと、改善案、本日のプログラム内容の確認について 職員で話し合いをし、実行しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その 日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等 を共有しているか	5		送迎終了後、保護者様からのお話や忘れ物等について、職員共通LINEに報告 し、施設到着後、大切なお話は再度口頭で職員に周知させています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底 し、支援の検証・改善につなげているか	5		日々支援の記録はリタリコに入力、保護者様に対しては連絡帳に記録をしてい ます。また翌日の朝礼で支援検証 改善を職員で話し合いお子様達が笑顔で過 ごせるよう、取り組んでいます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサー ビス計画の見直しの必要性を判断しているか	5		6ヶ月に一度モニタリングを行い、事前に個別支援計画会議を行い職員 からの意見を聞き計画を見直し、保護者様にもその旨を伝え同意のもと 新しい計画書を渡しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	5		自立支援と日常生活の充実をするプログラムを行い、創作活動 余暇の 提供にも力をいれ支援しています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそ の子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参 画しているか		5	対象となるおさまが現在いないため、今後対象のおさまがある場合 は担当職員に会議へ出席してもらいます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交 換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送 迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に 行っているか	5		各学校の担任の先生と学校への送迎の際に学校での出来事を聞き、放課 後等デイサービスでは個別支援計画とS-M社会生活能力検査を説明し 渡しています。また送迎やトラブル発生の際は、担任の先生に速やかに 連絡。連携を取り今後も努めていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、 子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		5	現在対象となるおさまがいませんが、今後のために市の研修等積極的 に参加し、専門知識を学んでいきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こど も園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と 相互理解に努めているか	5		児童発達支援を利用していたおさまが現在放課後等デイサービスを利用 している為、何かあれば園訪問していた保育所に連絡は取れます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から 障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それ までの支援内容等の情報を提供する等しているか		5	現在対象となるおさまがいませんが、今後必要なおさまがいる際は 情報共有していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター 等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている か		5	現在対象となるおさまがいませんが、今後必要なおさまがいる際は 情報共有していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がい のない子どもと活動する機会があるか		5	現在コロナ禍もあり外部との交流は控えていますが、環境に敏感なお子さ まもいるため今後も慎重に考えていこうと思います。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加してい るか	5		富士市自立支援協議会、地域連携に所属、積極的に会議へ参加しまし た。今後も富士市のおさまのために、力になればと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ど もの発達の状況や課題について共通理解を持って いるか	5		日ごろ保護者様に対し、連絡ノートで様子をお伝えし、帰りの送迎時 により詳しく様子や出来事をお伝えします。また気になる問題がある際は 管理者電話で相談内容をお伝えし、理解に努めています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に 対してペアレント・トレーニング等の支援を行っ ているか	5		発達障害のおさまには特性に応じたアプローチが必要なため、ABAを 中心とした行動理論を保護者様にも説明。その後指導方法を聞いたう えで保護者様がにおさまに実践し、成功しましたとお話を聞いています。 今後も家族支援に取り組んでいきます。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		契約の際に管理者が説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		子育ての悩み等があった場合、まず直接詳しいお話を聞いています。問題解決するよう一緒に考え必要な場合は助言し、支援を行います。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5		父母会はありませんが、月一の親子参加型プログラムを実施、保護者相談会も3、4ヶ月に開催しているため、そこで仲良くなり情報交換をしている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		苦情等の内容確認をし直接伺いお話を聞く。上に報告。内容によって持ち帰り設頂き職員でミーティングを行い、速やかに対応します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		毎月ハッピーエンジェル通信を発行、SNSを活用、毎日ハッピーエンジェルの情報を発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	5		個人情報に関わる資料は書庫に入れ、職員にも取り扱いについて周知しています。また保護者に対しては契約の際に説明しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		説明する際に口頭だけでなくお子さまには絵カード、保護者様には文字にして視覚的に用いお話をしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5		こども食堂を開催し、地域の方を招待したり、イベントに関しても回覧を使い、ハッピーエンジェル通信を配布し発信しました。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5		各マニュアルについては職員で読み合わせし、保護者様については契約の際にマニュアルを見せ説明しました。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		避難訓練を実施、錦町公園へ訓練を行った。また富士中央消防署に来ていただき実際の訓練も受けている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		施設内で研修を実施。お子さまに対し適切な対応に努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5		現在対象となるお子さまがいないため、今後対象になるお子さまがいる際には放課後等デイサービス支援計画に記載して、保護者様に説明していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5		食物アレルギーについてはアセスメントの際に聞き取りをしています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		ヒヤリハットは日々の大小関係なく怪我や危険な場面など職員で情報共有し、用紙に記載しています。	